

3. 生活支援ロボットの实用化促進

概要

生活支援ロボット实用化プロジェクト

- 人との接触度が高い介護者支援、移動支援等へのロボットの活用には一層の安全が求められる。
- 生活支援ロボットを製作し、安全性実証試験を集中的に行うことにより、対人安全技術（人検知技術、人衝突時の対応技術等）を確立する。
- 国際標準化の議論も客観的なデータに基づいてリードする。

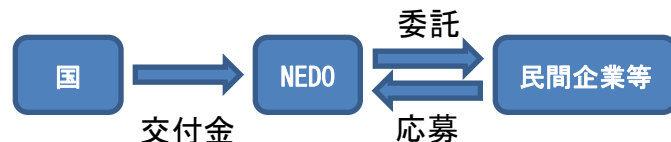
生活支援ロボット安全研究拠点整備

- 産学官のロボット研究の中心的役割を果たす産業技術総合研究所に、生活支援ロボットの対人安全性確保のための人・技術・情報を集約する場を整備し、開発を加速させる。

実施体制

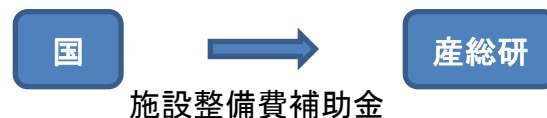
生活支援ロボット实用化プロジェクト

平成21年度予算：16億円



生活支援ロボット安全研究拠点整備

平成21年度補正予算：7億円



イメージ

安全試験等の対象となる生活支援ロボットのイメージ

重作業補助

移動支援



生活支援ロボット实用化プロジェクト

生活支援ロボット实用化プロジェクトと連携

安全検証のための試験方法、試験機例

共同研究・コラボ
知の集積

安全データの集積

産総研
生活支援ロボット安全研究拠点
人・技術・情報が集約する場

網羅的な試験設備の集約



全天候再現可能試験路 電波暗室
対人安全技術の確立に必要な施設一体型の装置等

全国から生活支援ロボットが持ち込まれる

全国のロボット
企業・研究所・大学



各場所へ
フィードバック